

人も、街も、あったかい。

大分で

臨床研修
はじめよう

大分県の臨床研修病院
(平成 25 年度 採用)





人も、街も、あったかい。

大分で
**臨床研修
はじめよう**

**大分県の臨床研修病院
(平成 25 年度)採用**



C o n t e n t s

大分県の臨床研修病院	1
医学生の方へ 大分県知事 広瀬勝貞	2
独立行政法人 国立病院機構別府医療センター	4
大分県立病院	6
大分大学医学部 附属病院	8
社会医療法人敬和会 大分岡病院	10
中津市立 中津市民病院	12
大分県医療生活協同組合 大分健生病院	14
大分県厚生連 鶴見病院	16
医療法人社団恵愛会 大分中村病院	18
独立行政法人国立病院機構 大分医療センター	20
大分赤十字病院	22
大分県済生会 日田病院	24
国家公務員共済組合連合会 新別府病院	26
大分市医師会立 アルメイダ病院	28
女医さん集まれ!	30

大分県の臨床研修病院

～大分県の基幹型臨床研修病院(13病院)を紹介します。～





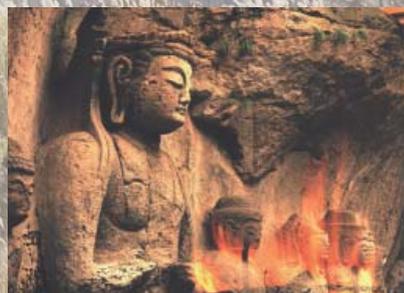
医学生の皆さんへ

大分県知事
広瀬 勝 貞

大分県は、温泉をはじめとした豊かな天然自然に恵まれ、歴史や食文化など多くの魅力に溢れています。

また、日本初の西洋医学の病院を建設した大友宗麟や「解体新書」の編纂を手がけた前野良沢を輩出するなど、古くから医学とのゆかりの深い地でもあります。

私は、「県民中心の県政」を旨とし、「互いに助け合い、支え合う安心・安全の大分県」



をめざしています。そのためには、将来にわたり県民の皆さんが、いつでも、どこにいても、安心して適切な医療を受けられる地域医療体制の確保がとりわけ重要と考えています。

近年、全国的に医師不足が深刻となる中、本県においても、医師の地域偏在や小児科・産婦人科など特定診療科の医師の不足が課題となっています。

そのため、一人でも多くの志ある医師の皆さんに本県で活躍していただきたいと考え、大分大学医学部と連携し、地域医療を担う医学生への修学資金の貸与やキャリア形成支援を行っているほか、後期研修医への研修資金

のサポート、勤務環境の改善と研修支援を通じた魅力ある病院づくりなど、医師の確保・育成に全力で取り組んでいます。

また、県内の臨床研修病院におきましては、これからキャリアを積み重ねていく研修医の方々に、将来を担う優れた医師に育てていただくため、それぞれの特徴を活かし、柔軟で多様な研修プログラムをご用意しています。

本県は、これから医師として研鑽を積み重ねる皆さんにとりまして、研修の場としても、また生活の場としても、魅力に溢れているものと自負しています。

ぜひ、この大分の地で医師としての一步を踏み出してください。心から歓迎いたします。



独立行政法人国立病院機構 別府医療センター

所在地 別府市内電 1473

病院長 武藤 庸一



病院の概要

■ 開設者：国立病院機構理事長 桐野 高明

■ 開設年月日：平成16年4月1日

■ 診療科目：呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、形成外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、腎・泌尿器外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、歯科口腔外科、救急科、総合診療科（内科）、麻酔科、歯科、臨床検査科

■ 病床数：494床（一般454床、精神40床）

■ 医師数：常勤81名、非常勤14名

■ 研修指導医数：27名

■ 1日平均外来患者数：550名

■ 1日平均入院患者数：400名

研修・認定施設一覧

- ・日本外科学会専門医制度修練施設
- ・日本救急学会専門医指定施設
- ・日本麻酔学会麻酔指導病院
- ・日本内科学会認定内科専門医制度教育関連病院
- ・日本病理学会登録施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本産婦人科学会認定医制度卒後研修指導施設 等

病院長からのメッセージ



武藤 庸一

当院の歴史は古く、大正14年に亀川海軍病院として創始されました。

平成20年6月に病棟が、更に平成24年11月に外来診療棟が新築され、また電子カルテ化、フィルムレス化導入も加わり、効率よく診療ができるようになりました。

県内では3番目に「地域医療支援病院」として承認され、大分県医療計画において「地域がん診療連携拠点病院」、「地域周産期母子医療センター」、「地域小児科センター」、「大分DMAT（災害派遣医療チーム）」、脳卒中、

急性心筋梗塞、糖尿病の急性期治療の医療機関としての指定を受けています。

現在、31診療科、85名の医師が日夜診療に勤しんでおり、また年間2000台を越す救急車が搬入され、救急専門医とともに多くの医師が診療にあたっており、研修環境は優れています。宿泊研修施設としての天然温泉付き『教育研修棟』があり、住環境も整っており、医師人生のスタートを切るに相応しい病院と自負しています。

研修医からのメッセージ



加藤 研太

皆さんこんにちは。別府医療センター初期臨床研修医1年目の加藤研太です。日々忙しくも充実した研修生活を送っています。別府医療センターは地域の中核病院として、また2次救急病院として、風邪からショック・腫瘍まで様々な疾患を経験することができます。また、手技の面でも優しい指導医・上級医の先生方のサポートもあり、他院ではなかなか経験できないCVライン挿入・気管挿管・気管支鏡・腰椎穿刺など、数多くの経験が可能

です。決して大きな病院ではありませんが、その分各診療科同士の垣根も低く、思い悩むような症例でもすぐに各科の先生に相談することが出来ます。また2012年11月には新外来棟も完成し、まだピカピカの状態です。

別府は全国でも有数の温泉地であり、オフには様々な温泉を楽しむことが出来るのも別府医療センターの魅力のひとつです。是非検討してみてください！

研修プログラムの特徴

- ① 基幹型臨床研修病院および九州大学附属病院と大分大学医学部附属病院の協力型研修病院
- ② 1年次内科系6ヶ月、救急部門2ヶ月、麻酔科1ヶ月、選択必須2ヶ月とし、2年次は選択必須を2ヶ月、地域医療を1ヶ月研修の後、9ヶ月自由選択
- ③ 選択必須は外科系、産婦人科、小児科、精神科より2診療科を選択
- ④ 自由選択では大分県東部保健所、国立病院機構佐賀病院、国立病院機構西別府病院での研修も可能
- ⑤ 協力型研修病院としては、九州大学病院と大分大学医学部附属病院を基幹型とし、一年次と二年次をいわゆる襷掛け方式でひきうけている。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次 基幹型	内科						麻酔科	救急科	救急部門 救急科	ICU	選択必修 2科目で4ヶ月	
2年次	選択必修		地域医療	選択科目								

■ 研修協力病院・研修協力施設

杵築市立山香病院、亀川児玉病院、別府温泉病院

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：非常勤
- 基本給
1年次：月額301,140円程度 2年次：月額326,340円程度
※上記に時間外・休日・当直手当
- 賞与：有り
- 基本的な勤務時間：8：30～17：15
- 休暇：1年目10日間
※採用後3ヶ月目以降より2日間、6ヶ月目以降より8日間、2年目11日間
- 宿日直：週1回程度
- 出張：旅費支給 学会発表者 年2回程度
- 加入保険：政府管掌健康保険・厚生年金に加入、公務災害補償適用有
- 医師賠償責任保険：個人加入
- 宿舍または住居手当：教育研修棟有り
無料・個室（風呂・天然温泉、トイレ付）
※光熱費は実費負担
- 保育所の有無：有り

募集要項

- 募集定員：4名
- 応募資格：医学部卒業見込みのもの
- 募集期間：試験日は随時
- 必要書類：履歴書 高等学校入学より現在まで、市販の履歴書に写真を貼付
- 選考方法：面接

資料請求
または
応募連絡先

〒874-0011 大分県別府市内竈1473
別府医療センター 事務部管理課

■ TEL：0977-67-1111 ■ FAX：0977-67-5766
■ E-Mail：masahiro@beppu.hosp.go.jp
■ URL：http://www.beppu-iryu.jp



救急センター 初療室



消化器内外科科合同カンファレンス



ゴールデン体操

大分県立病院

所在地 大分市大字豊饒 476 番地

病院長 田代 英哉



病院の概要

- 開設者：大分県知事
- 開設年月日：明治13年3月1日
- 診療科目：循環器内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、腎臓・膠原病内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科、精神神経科、小児科、外科（消化器外科・乳腺外科）、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線科、内視鏡科、臨床検査科、救命救急センター、リハビリテーション科、新生児科、産科
- 病床数：一般566床、感染症12床
- 医師数：常勤104名、非常勤43名
- 研修指導医数：45名
- 1日平均外来患者数：836.9名
- 1日平均入院患者数：432.7名

研修・認定施設一覧

日本内科学会認定医制度教育施設、日本IVR学会専門医修練施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設、日本核医学会専門医教育病院、日本肝臓学会認定施設、日本血液学会認定血液研修施設、日本呼吸器

学会認定施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院、日本病理学会病理専門医制度研修認定病院B、日本麻酔科学会認定病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施

設、日本救急医学会認定救急科専門医指定施設、日本産婦人科学会専門医制度卒業研修指導施設、日本周産期・新生児医学会専門医制度暫定研修施設、日本消化器外科学会専門医修練関連施設、日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設 など

病院長からのメッセージ



田代 英哉

卒業前の皆さんにとって、どこの病院で初期研修を受けるかは失敗が許されない大切な選択でしょう。選択のための条件はさまざまあると思います。確かに大分県は田舎ですが人情が厚く、自然が豊かで、食べ物おいしい愛すべき土地だと思っています。そして何より130年余りの歴史を有する大分県立病院があります。周産期・小児医療、救命救急医療、がん医療などの高度専門医療を中心に、県民の生命と健康を守るために最良・最適の医療の提供に努めています。

病院さらには地域の将来を見据えた時、人材育成のための教育研修の充実が病院の重要施策のひとつと考えています。そこで教育研修センターを核にして、初期研修から後期研修にいたるプログラムの充実と工夫に取り組んでいます。

100年先も光り輝く大分県立病院を受け継いでいくためには、是非、皆さんの力が必要です。仲間とともに初期研修の第一歩を大分県立病院で踏み出してみませんか。職員一同お待ちしております。

研修医からのメッセージ



和田 蔵人

自分なりの研修の感想を元に、皆さんの研修病院の決定に少しでも役に立てればと思います。

まず研修は基本的に指導医の先生とのマンツーマンで5~10人程度担当します。病棟業務が主で、診察、検査、治療方針の決定を行っていきます。色々な手技を経験させてもらうことも出来ます。また受け身ではなく、自発的な診療を行えるのも特色の一つです。

次に当直業務は月3-4回あります。所謂walk-inの患者さんの問診・診察・検査などの初期診療、救急車の初期対応などを行います。walk-inの場合は内科・外科当直の先生が各1人いて気軽に相談に乗って頂けますし、救急車は救急当直の先生と一緒に診療にあたって頂けます。つまり上級医の先生の後ろ

盾があった上で診察ができるというかなり恵まれた環境が整っています。

最後に決め手となったのは“病院の雰囲気良さ”です。約30人いる研修医同士は、研修医室を憩いの場として親睦を深めています。診療科毎のスタッフは少ないですが、その分アットホームな雰囲気が流れており、他科とも色々なことを相談しやすい環境にあります。その他の医療者とのコミュニケーションもしっかりしており、実際に1年間働いた今でも「この病院を選んで本当に良かった」と自信を持って言うことが出来ます。

少しでも当院での研修に興味を持って頂けたら是非一度見学にいらして下さい。僕ら研修医をはじめ病院スタッフ一同、皆さんが来るのを楽しみにお待ちしております。

研修プログラムの特徴

以下に対処できる医者を養成する。

- ・頻度の高い疾病や外傷の診断と治療ができる
- ・救急の初期診断ができる
- ・適切な時期及び方法で、他科又は上級医に紹介できる
- ・医療情報、診断内容を正しく記録する週間を身につけ、正確に伝達できる
- ・チーム医療を理解し、実践できる
- ・患者およびその家族と信頼関係を構築でき、診断・治療に必要な情報が得られると共に、診断結果、治療方法等相手の求める情報を正しく伝えるような医療面接を実施出来る
- ・疾病の予防、健康管理、リハビリテーションについて理解し、基本的医療計画を立てることができる

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						選択必修				救急	
2年次	地域医療	選択										

※スケジュールは年次内で月が入れ替わることがある。

※1年次は、2ヶ月ずつローテーションを行う。

※内科は単科での研修の他、循環器内科と内分泌・代謝内科、消化器内科と腎臓・膠原病内科、呼吸器内科と血液内科の組合せでは2科同時に研修をすることも可能。

※選択必修は2ヶ月ずつ外科・小児科・産婦人科・麻酔科・精神科から2

つを選び研修を行う。

※2年次の選択では大分県立病院の他、研修協力病院・研修協力施設にて研修を実施することが出来る。

※救急は2年次に当直を25回以上行うことにより1ヶ月分とする。

※精神科は大分大学医学部附属病院にて研修を行う。

■ 研修協力病院・研修協力施設

大分県東部保健所、大分県中部保健所、介護老人保健施設 健寿荘、独立行政法人国立病院機構九州がんセンター、中津市国民健康保険山移診療所、中津市国民健康保険槻木診療所、佐伯市国民健康保険因尾診療所、佐伯市国民健康保険丹賀診療所、姫島村国民健康保険診療所、大分ゆふみ病院、豊後大野市民病院、鶴見台病院、大分大学医学部附属病院、国東市民病院

研修医の処遇

■ 常勤または非常勤：非常勤

■ 基本給

1年次：301,500円 2年次：316,700円

※上記に時間外・休日・当直手当は含まない

■ 賞与：無し

■ 基本的な勤務時間：8：30～17：00（休憩12：00～13：30）

■ 休暇：有給休暇 1年次10日、2年次11日

その他の労働基準法に定める休暇

■ 宿日直：月4回程度

■ 出張：学会等への参加は、予算および日程の都合のつく限り可能

■ 加入保険：健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険

■ 医師賠償責任保険：病院として加入。個人は任意。

■ 宿舍または住居手当：敷地内医師・看護師宿舍または近隣借り上げ住宅にて対応。

家賃11,900円～13,700円程度。住居手当はなし。

■ 保育所の有無：有り



研修医室



手術風景



周産期センター（NICU）

募集要項

■ 募集定員：12名

■ 応募資格：当該年度医師国家試験受験予定者

■ 募集期間：7月中旬～8月下旬

■ 必要書類：願書、履歴書、成績証明書、卒業（見込）証明書、小論文

■ 選考方法：小論文、面接

〒870-8511 大分市大字豊饒476番地

大分県立病院 教育研修センター 梶原

資料請求
または
応募連絡先

■ TEL：097-546-7454 ■ FAX：097-546-0725

■ E-Mail：a80200@pref.oita.lg.jp

■ URL：http://www.oita-kenbyo.jp/index.html



大分大学医学部 附属病院

所在地 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

病院長 野口 隆之



病院の概要

- 開設者：国立大学法人大分大学
- 開設年月日：昭和56年10月1日
- 診療科目：呼吸器内科、内分泌・糖尿病内科、膠原病内科、腎臓内科、神経内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、精神科、小児科、消化器外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、心血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、腎臓外科・泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、産科婦人科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、総合診療部、臨床薬理センター、救命救急センター
- 病床数：一般病床588 精神病床30
- 医師数：常勤200名、非常勤208名
- 研修指導医数：126名（臨床経験7年以上で、指導医講習会を受講済みの者）
- 1日平均外来患者数：1011.8名
- 1日平均入院患者数：508.0名

研修・認定施設一覧

日本内科学会認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本感染症学会認定研修施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本麻酔科学会認定病院、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、など（当院標榜診療科に関連するほぼ全ての学会において研修施設等の認定を受けています。）

病院長からのメッセージ



野口 隆之

大分大学医学部附属病院はその機能を最新のものとするため、平成22年度から各建物・施設について再整備を始め、平成23年には大型のサイクロトロンを有するPETセンター、平成24年には全国で有数のドクヘリ基地病院として屋上にヘリポートを有する4階建の救急新棟が完成し、12000平米の新病棟が建築を終了し25年春に移転を開始いたします。

本院は高機能な病院に更に付加価値を付けるべく、平成20年に腫瘍内科を設置し、都道府県がん診療拠点病院として低侵襲外科的療法、化学療法、放射線治療、緩和ケアなど

の充実、サイクロトロンとPETCTを導入し平成23年にがんの診断能力向上、分子イメージングによる新規薬剤の開発・治験にも取り組んでいます。平成24年にはダビンチ導入によるロボット手術、25年春には血管内手術専用のハイブリッド型手術室など先進的な医療設備を完備し今後は大学病院ならではの先進医療・高度医療が経験可能な臨床研修施設を目指し、世界水準の医療と研究に携わる専門医修練の可能な病院を作ります。

本院で臨床研修をスタートし、高度医療を行える医師、世界水準の医療と研究を行える専門医を目指してみませんか？

研修医からのメッセージ



吉良晋太郎

私は1年目を大学病院で研修し、2年目の途中から大分医療センターで研修しています。

大学病院の研修の特徴は、「こだわり」です。担当する患者数は少ないのですが、一人の患者さんに対して、病態を深く探っていきます。病態や患者さんについての考え方、とらえ方を身につけるためには、最初の段階で大学病院で働き、その中で感じ取りまた学んでいくことが重要なのかと思います。

必然的に、症例数、手技数は市中病院に比べ少なくなりますが、その点については、たすき掛けで市中病院を研修することによって、考え方、手技のバランスの良い研修

になると思います。

また、大学病院の特徴の一つとしては、専門性の高さです。私は形成外科を研修したのですが、形成外科では、シミュレーターや実際の手術中に熱心に事細かに、縫合のテクニックを伝授してもらいました。先生の話も面白いので、うまくいけばトーク力も身につけることができます。僕はうまくいきませんでした（笑）。

大分大学医学部附属病院で医師としての第一歩を踏み出してみませんか。

研修プログラムの特徴

選択科が最大12か月間と自由度が高く、大学病院以外に約70の協力病院で研修することが可能である。大学病院では1例1例の十分な症例検討から得られる最新の臨床能力（日常診療の中で希少疾患を疑う能力）を習得することができ、協力病院では多くのcommon diseaseを経験することができる。2年間を通して、大学病院と市中病院のメリットを享受できるプログラムになっている。

また、2年間の初期臨床研修修了後、各診療科の後期研修プログラムに応募し、当院および学外の研修病院などで卒後臨床研修から一貫した研修を受けることが可能である。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年次	内科					
2年次	地域医療	選択				

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	救急			選択必修		選択
2年次	選択					

※内科は以下6グループから3つを選択し、2か月ずつ研修する。

- ①内分泌・糖尿病、膠原病、腎臓内科
- ②呼吸器内科 ③循環器内科
- ④消化器内科 ⑤神経内科
- ⑥腫瘍・血液内科

※選択必修は外科系診療科、精神科、小児科、産科婦人科、麻酔科から2つを選択し、1年目もしくは2年目にそれぞれ1か月以上研修する。

■ 研修協力病院・研修協力施設

大分県立病院、国家公務員共済組合連合会 新別府病院、独立行政法人国立病院機構 別府医療センター、大分県厚生連鶴見病院、大分市医師会立アルメイダ病院、大分赤十字病院、独立行政法人国立病院機構 大分医療センター、健康保険南海病院、大分県済生会日田病院、中津市立中津市民病院、ほか約60施設

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：非常勤
- 基本給
 - 1年次：300,000円
 - 2年次：300,000円
- ※上記に時間外・休日・当直手当は含まない
- 賞与：なし
- 基本的な勤務時間：8時30分～17時15分（休憩時間：12時～13時）
- 休暇：年次有給休暇10日、特別有給休暇8日（夏季休暇5日、病気休暇3日）
- 宿日直：2年次：1～2回／月、1年次：救急部門研修で交替制勤務あり
- 出張：学会、研究会への参加可（旅費支給は各診療科の定めによる）
- 加入保険：健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険：病院として加入。個人は任意。
- 宿舍または住居手当：住居手当あり（上限27,000円）
- 保育所の有無：あり



ダ・ヴィンチ



研修医会



研修風景

募集要項

- 募集定員：61名
- 応募資格：マッチングに参加者し、医師国家試験を受験する者
- 募集期間：6～7月予定（決定次第、当院ホームページなどに掲載）
- 必要書類：願書、履歴書、成績証明書
- 選考方法：書類審査、面接

資料請求
または
応募連絡先

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地
大分大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター 池辺、川添

■ TEL：097-586-5205 ■ FAX：097-586-5206
■ E-Mail：sotugo@oita-u.ac.jp
■ URL：http://www.med.oita-u.ac.jp/sotugo/



社会医療法人敬和会 大分岡病院

所在地 大分市西鶴崎 3-7-11

病院長 葉玉 哲生



病院の概要

- 開設者：岡 敬二
- 開設年月日：昭和29年5月22日
- 診療科目：内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、心臓血管外科、脳神経外科、外科、整形外科、形成外科、麻酔科、リウマチ科、小児科、産婦人科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、肛門科、歯科・歯科口腔外科、矯正歯科

- 病床数：231床
- 医師数：常勤38名、非常勤22名
- 研修指導医数：17名
- 1日平均外来患者数：310名
- 1日平均入院患者数：174名

研修・認定施設一覧

- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本内科学会教育関連施設
- ・日本外科学会外科専門医制度指定施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本循環器学会循環器専門医研修施設
- ・日本心臓血管外科専門医認定基幹施設
- ・日本形成外科学会認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- ・日本口腔外科学会専門医制度指定研修機関
- ・日本消化器外科学会修練関連施設 等

臨床研修センター長からのメッセージ



迫 秀則

大分岡病院では、初期臨床研修医の皆さんにできるだけ早く第一線での医療を担えるよう早期から多くの症例を経験し、疾患に対する知識や基本的医療技術の習得が出来るように詳細な指導をしています。また、医療倫理の4原則（患者の自己決定権、患者の利益、無害、医療の公平性）に十分配慮した研修になるように心掛けており、患者、家族に適切なインフォームドコンセントを行うことや、他職種の

同僚と良好な関係を構築するための高度なコミュニケーションスキルの習得が出来るよう、様々なトレーニングを実施しております。研修医の皆さんが、医師としての自己実現に向けて努力できるような環境を整えてあげることが我々指導医の役目と考えおり、上級医、指導医とも定期的に話し合い、将来自分が目指す医師像の確立とプロフェッショナルリズムの追求を常に実感できるように心がけております。

研修医からのメッセージ



鍋田 祐介

大分岡病院に興味を持ったのは、学生時代「雰囲気がとても良い病院」と感じたのがきっかけです。実際、医師をはじめ職員の人達がいきいきと仕事をしており、とても活気があります。特長としては、研修医数が少ないので、どの科の先生も研修医のことを気にかけていて声を掛けてくれ、やりたいことがあれば可能な限りやらせてもらえます。また、担当患者さんの診断や検査指示は、まず“自分で考え”指導医と確認するという方法なので、自分の下す決断に“責任”を感じています。研

修医といっても医師としての対応が求められますが、一人で全責任を負うということではなく、指導医・上級医の先生方があたたかく、かつ厳しく見守ってくれており、安心して学ぶことができる環境です。診療科間の繋がりが強く、他科の先生方だけでなく、コ・メディカルの方にもコンサルトしやすく、身をもってチーム医療を学んでいます。研修医のうちから積極的に色々したいと思っている人にはとても良い施設だと思いますので、興味を持った人は是非見学に来て下さい!!!

研修プログラムの特徴

当院の初期研修の特徴は救急医療を中心としたプライマリケアを初年度で多く経験できる点である。豊富な症例を経験することができるので、十分な知識と経験を身に付けることができ、目的意識のはっきりした、やる気のある研修医ほど満足してもらえるプログラムになっている。231床の病院だが、県下でもトップクラスの救急車搬入台数があり、多くの症例にファーストタッチでき、同時に、患者さんに対しどのように対応し治療していくのかを学んでいくことができる。1年目にプライマリケアに必要な知識や技能を身につけ、2年目から当直に参加していく。また、研修医のキャリアを考慮して、選択科目を自由に選択できるようにフレキシブルな対応を心がけている。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			選択必修		
2年次	地域医療	研修医のキャリアを考慮した診療科										

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	研修医のキャリアを考慮した診療科			内科						救急		
2年次	選択必修/2科目			地域医療	研修医のキャリアを考慮した診療科							

選択研修の11ヶ月は、大分岡病院の主たる診療科での研修が中心となるが、大分岡病院での研修が8ヶ月を超える場合には、協力型病院での研修も可能である。

■ 研修協力病院

大分大学医学部附属病院、大分東部病院、衛藤病院、天心堂へつぎ病院

■ 研修協力施設

大分医療センター、別府医療センター、吉村内科循環器科クリニック、谷村胃腸科・小児科医院、大分豊寿苑、大分市消防署

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤
- 基本給
 - 1年次：545,000円（当直手当、学会参加費、出張旅費、必要書籍代含む）
 - 2年次：560,000円（学会参加費、出張旅費、必要書籍代含む）
 - ※出張旅費は病院が認めたものは支給、2年次より当直手当あり
- 賞与：無し
- 基本的な勤務時間：8：30～17：30（休憩12：30～13：30）
- 休暇：採用後6ヶ月継続勤務し、全勤務日の8割以上出勤した者は10日
夏季休暇、年末年始休暇有り
- 宿日直：1年目 準夜帯当直1回/週、2年目 3～5回/週
- 出張：学会への積極的な参加を奨励、出張手当なし
- 加入保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 医師賠償責任保険：有り
- 宿舍または住居手当：有り（空きがない場合、月5万円の住宅手当支給）
- 保育所の有無：有り（院内保育施設、病児保育施設あり）



DMAT



研修風景



サイバーナイフ

募集要項

- 募集定員：5名
- 応募資格：今年度医師国家試験受験予定者
- 募集期間：5月～8月
- 必要書類：履歴書、卒業（見込）証明書、成績証明書、健康診断書
- 選考方法：面接

〒870-0192 大分市西鶴崎 3-7-11
大分岡病院 人事秘書課 安東 玲子

資料請求
または
応募連絡先

■ TEL：097-522-3131 ■ FAX：097-522-3777
■ E-Mail：ando1901@oka-hp.com
■ URL：http://www.oka-hp.com/



中津市立 中津市民病院

所在地 中津市大字下池永 173 番地

病院長 池田 正仁



病院の概要

- 開設者：中津市
- 開設年月日：平成12年7月1日
- 診療科目：内科、糖尿病・内分泌内科、心療内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、内視鏡外科、乳腺外科、肛門外科、呼吸器外科、小児外科、泌尿器科、産婦人科、放射線科、麻酔科、病理診断科

- 病床数：一般250床
- 医師数：常勤38名、研修医7名
- 研修指導医数：16名
- 1日平均外来患者数：325名
- 1日平均入院患者数：206名

研修・認定施設一覧

- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本内科学会認定教育関連病院
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本IVR学会専門医修練施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設
- ・日本医学放射線学会専門医修練機関
- ・日本病理学会研修登録施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期新生児専門医
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
暫定研修施設 など

病院長からのメッセージ



池田 正仁

当院は、大分県西北端の中津市（人口約86,000人）を中心とした大分県北部に、県境を越え福岡県東部を併せた24万人医療圏の唯一の中核病院として高度医療を展開しています。通常診療に加え、365日24時間対応の救急（小児を含む）にも力を入れています。平成24年10月からは竣工なったアメニティ溢れる真新しい病院で診療を開始しています。

当院では、基幹型（定員4名）と協力型（九州大学・大分大学）の少数精鋭の研修医（計約10名）を、数々の専門医資格を持つ各科の指導医が、研修プログラムに則りマンツーマンで教育・指導するのが特徴です。また、診療科の垣根を取払った各科合同の多岐に亘るカ

ンファレンスや講習会、抄読会、集談会などを通じて、医療人としての総合力を養成します。

地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院、救急告示病院等の指定に加え、各種学会の施設認定も受け、研修医の皆さんの多種多様なニーズに応えられるよう研修環境を整備しています。

昼は患者さんの傍で研修に没頭し、夜はその日を振り返り、経験を分析、整理するという研修スタイルの習慣化により、診療能力に加え、学術活動（学会発表、論文作成）を行う意欲や能力を涵養します。

充実した研修生活が送れるよう、病院をあげて研修医の皆さんをサポートします。

研修医からのメッセージ



大学の6回生の時にこの病院に見学に来て、自由闊達な研修の雰囲気を感じ、1年目の希望先をこの病院と書いて提出した。もちろん、自分が生まれた病院だからということもあったかもしれない。とにかく、6年ぶりに私は地元に戻ってくるようになった。

国家試験の直後ということで知識的にはある程度は自信があったが、現場で働く力はほぼゼロからのスタートであった。初めの頃は、点滴の時に周りを血まみれにしてしまったりして、よく看護師さんに怒られた。あの頃に比べれば成長したかなと思う。

この1年を振り返ってみると、いろいろな

場面が頭に浮かび上がってくる。同期と患者の治療法や自分たちの進路について遅くまで議論し合った研修医室、回盲部まで到着していることに気づかずさらに突き進もうとしてしまったCF、救急にてCPAが連続して来た夜、同期の研修医同士が結婚するといきなり言い出した飲み会、そして30代の末期がんの患者さんを看取った病室……。

本当に濃い1年間だったと思う。そして思い出すことはやっぱり人とのつながりの中でのことばかりである。先生方、スタッフの皆さんには心から感謝しており、中津市民病院で医者としてのスタートを切れたことを幸せに思っている。

研修プログラムの特徴

- ・「忙しすぎない、じっくり考える研修」をモットーに、救急にも対応可能な臨床力の獲得が可能です。
- ・適正に担当患者数を制限するため、個々の患者さんに十分な時間をかけて接することができます。
- ・中規模病院ならではの利点として、診療科間の壁が無く、診療科横断的な研修が可能です。また、内視鏡、観血的処置などの手技も多く経験できるため、臨床力が獲得できます。
- ・マンツーマン方式で指導を行なうため、研修途中でのカリキュラム変更にも柔軟に対応します。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			選択必修		
2年次	地域医療	選択必修					選択					

※内科研修は、一般内科・消化器内科・循環器内科で2ヶ月ずつ行う。

※救急研修は、主として麻酔科及び外科に所属する。

※選択必修研修は、外科、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科から3科目以上を選択し、1ヶ月もしくは2ヶ月の研修を行う。

※選択研修は、内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、泌尿器科、産婦人科、放射線科、麻酔科、病理診断科などから組み合わせて研修を行う。

■ 研修協力病院

大貞病院（精神科）

■ 研修協力施設

こうげクリニック（地域医療）、津民診療所（地域医療）、槻木診療所（地域医療）、中津市医師会健診センター（地域医療）

研修医の処遇

■ 常勤または非常勤：非常勤

■ 基本給

1年次：237,300円 2年次：247,800円

※上記に時間外・休日・当直手当は含まない

■ 賞与：無し

■ 基本的な勤務時間：8：30～17：00（うち休憩時間45分）

■ 休暇：有給休暇 10日間

年未年始（12月29日～1月3日）

■ 宿日直：4回程度

■ 出張：回数等の制限なし

■ 加入保険：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険

■ 医師賠償責任保険：病院（加入）、個人（任意）

■ 宿舍または住居手当：賃貸住宅手配（費用病院負担）

■ 保育所の有無：有り



DMAT（災害訓練）



術前カンファレンス



新採用職員懇親会

募集要項

■ 募集定員：4名

■ 応募資格：第108回医師国家試験を受験予定の者

■ 募集期間：8月末まで

■ 必要書類：履歴書、卒業（見込）証明書

■ 選考方法：書類審査、面接

〒871-8511 中津市大字下池永173番地
中津市民病院 総務課総務係 係長 小川 泰且

■ TEL：0979-22-2480 ■ FAX：0979-22-2481

■ E-Mail：soumu@nakatsu-hosp.jp

■ URL：www.city-nakatsu.jp/hospital/index.html

資料請求
または
応募連絡先



大分県医療生活協同組合 大分健生病院

所在地 大分市古ヶ鶴 1-1-15

病院長 榎原 真由美



病院の概要

- 開設者：佐藤 秀樹
- 開設年月日：昭和56年7月1日
- 診療科目：内科・外科・小児科・消化器科・呼吸器科・循環器科・整形外科・神経内科・病理診断科・放射線科・リハビリテーション科・総合診療救急科

- 病床数：130床
- 医師数：常勤10名、非常勤4名
- 研修指導医数：8名
- 1日平均外来患者数：約200名
- 1日平均入院患者数：約105名

研修・認定施設一覧

日本プライマリケア連合学会後期研修プログラム

病院長からのメッセージ



榎原 真由美

大分健生病院は1981年開院で、130床と小規模ですが、大分市内の第一線病院として一次・二次救急、小児科、内科、外科基本3科の診療を行っています。

健生病院の前身である津留診療所からの医療理念として、患者を病気としてのみ捉えるのではなく、背景である労働実態、生活を理解し、患者さんが抱えている困難に共感し、寄り添う医療を大切にしてきました。診療報酬でまだ認められていなかったころから、出かけていく医療・訪問看護・往診も積極的に行ってきました。現在、今までに経験したことのない地域の医療情勢となっています。高齢者一人世帯の増加、老・老介護、働く世代も経済的に困窮し、孤立化し病院にたどり着いたときには深刻な状況に

なっていることも多く認められます。今一番必要とされているのは、地域医療を担うプライマリ・ケア医です。もちろん専門医、救急医も充足されてはいませんが、臨床医としてスタートするときに、地域を公衆衛生的視点で捉えた予防医療、そして急性期治療・慢性期治療、リハビリテーション、在宅医療などを包括する広い視野を持つことは大変重要なことと思います。健生病院は各職種でチーム医療を行い、切磋琢磨しながら日々成長をしている病院です。この30数年間、地域住民からもみとめられる優秀な臨床医を育成していくことを第一の課題としてきました。これからも多くの青年医師とともに、成長していきたいと考えています。是非一度見学に来て下さい。お待ちしております。

研修医からのメッセージ



安東 加恵

研修先を選ぶに当たり大病院か小病院かといえば、違うのは「症例数」だと思います。研修医が一人で受け持てる症例の数は10人から15人が限度だと思うので「症例数が多い病院がいいか?」と言えば、どうなのかなと感じていました。最終的に大分健生病院を選んだきっかけとなったのは、一生懸命働く研修医の姿を見たときです。どんなに忙しくても

疲れていても、いつも勢いがある向上心をもった研修医に自分もなりたいと思い大分健生病院を選びました。

患者さんとも距離が近く、色々な視点からお話しが聞けることも、この病院での研修の魅力の一つだと思います。大分の地域医療に興味のある方、一度見学に来てもらえたらうれしいです。

研修プログラムの特徴

- ・各科の専門科を配置しながらも、診療科ごとの垣根がないため、内科・外科・小児科といった基本3科の総合研修を提供している。
- ・内科は基本的に総合内科としての研修であり、臓器別に患者をパーツで診る癖がつかないように配慮。
- ・総合診療科主導で、内科研修中も外科や小児科研修を併行して行っており、2年間を通して必要十分な知識や技術が身に付くカリキュラムとなっている。
- ・当施設で経験不足となる産婦人科、精神科については他施設で十分な研修を保証。
- ・2次救急までを担うセンター病院で十分救急対応を学んだ後に、3次救急施設で救急研修を集中的に行なう。
- ・希望があれば九州沖縄全域の民医連施設での研修が可能（健和会 大手町病院など）。
- ・初期研修に必要な内容を全て網羅した上で、4ヶ月の選択枠を設けて研修医のニーズをプログラムに反映
- ・毎月1回、研修医及び多職種参加型の研修評価会議を開催し、研修上の問題点を速やかに拾いだして改善、研修医の希望を速やかに反映させるよう配慮。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科（内科・小児科・外科・皮膚科・高齢者福祉）総合研修							外科			救急	
2年次	救急	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択			内科（内科・小児科・外科・皮膚科・高齢者福祉）総合研修			

■ 研修協力病院・研修協力施設

大分市医師会立アルメイダ病院、大分赤十字病院、向井病院、博愛病院、西田病院、竹田診療所、けんせいホームケアクリニック、健和会大手町病院（北九州）、総合病院鹿児島生協病院（鹿児島）等

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤
- 基本給
1年次：472,308円 2年次：452,408円
※上記に時間外・休日・当直手当は：含まれる。当直手当：副直手当として5,000円/回
- 賞与： 年俸制のため月額給与に含まれる
- 基本的な勤務時間：8：30～17：00
- 休暇： 有給休暇 1年次10日※1年ごとに1日増加
夏季休暇 4日
年末年始 5日
その他（育児休暇等）
- 宿日直：有
- 出張：学会出張年1回まで病院負担
- 加入保険：社会保険完備、厚生年金
- 医師賠償責任保険：病院負担
- 宿舍または住居手当：住宅手当52,000円/月
- 保育所の有無：無

募集要項

- 募集定員：2名
- 応募資格：第108回医師国家試験受験予定者（平成25年2月予定）
- 募集期間：随時
- 必要書類：履歴書、卒業見込み書
- 選考方法：書類選考・面接

資料請求
または
応募連絡先

〒870-0935 大分市古ヶ鶴 1-1-15
大分健生病院 医局事務 児玉 彰彦

■ TEL：097-558-5140 ■ FAX：097-553-0612
■ E-Mail：kensei@oita-min.or.jp
■ URL：http://www.oita-min.or.jp/



CPC



カンファレンス



小児科研修

大分県厚生連 鶴見病院

所在地 別府市大字鶴見 4333 番地

病院長 藤富 豊



病院の概要

■ 開設者：大分県厚生農業協同組合連合会

■ 開設年月日：昭和23年8月15日

■ 診療科目：内科、吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、肝臓内科、人工透析内科、小児科、外科、肝臓・胆道・膵臓外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、腎臓外科、泌尿器科、血管外科、内視鏡外科、眼科、精神科、心療内科、麻酔科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科、放射線診断科、緩和ケア内科、腫瘍内科、放射線治療科

■ 病床数：230床（一般215床、ICU 4床、緩和ケア7床、感染症4床）

■ 医師数：常勤51名、非常勤25名

■ 研修指導医数：13名

■ 1日平均外来患者数：647名

■ 1日平均入院患者数：205名

研修・認定施設一覧

・日本医療機能評価機構認定施設

・厚生労働省臨床研修病院指定施設

・日本がん治療認定機構 認定研修施設

・日本消化器病学会認定施設

・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

・日本血液学会認定血液専門医制度研修施設

・日本腎臓学会認定研修施設

・日本循環器学会認定循環器専門研修施設

・日本外科学会外科専門医制度修練施設

・日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設

・日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設
ほか

病院長からのメッセージ



藤富 豊

医師への道は、長く厳しいものです。鶴見病院は患者さんを前にして、悩み、苦しみ、きつい思いをしながら医師を育てています。今までは大学病院協力型として2年目研修医を受け入れてきました。25年度から基幹型病院として初期研修医を受け入れることにしました。協力型としても継続します。

全国で地域医療は危機的です。患者さんが

医師を育ててくれます。当院は最先端医療と救急医療を提供しており、専門医を育成する教育を行っています。2年修了した時に淡い自信が、5年修了した時に確かな自信を感じる医師教育を行います。

私どもと一緒に、自分が目指す医師の道を歩みませんか。

研修医からのメッセージ

私は研修医2年目の10月から鶴見病院で研修（消化器内科・腎臓内科）させて頂きました。

ここの病院の特徴は何といっても症例の豊富さにあると思います。選択科では、様々な症例を経験することができ、消化器ではGF・CF等の手技も相当数経験することができました。

また専門科での研修だけでなく、プライマリケアを学ぶ場としても最適な研修施設であると思います。

私自身、月2回の日直（救急外来）を通して様々な症例を経験することができました。私は内科を考えていたので一般内科を初期研修で経験できたことは現在の大きな糧となっています。その後、消化器内科を選択したのですが、そのまま後期研修医として充実した日々を送らせて頂いています。実際のアクティブな症例を経験できる絶好の研修施設であることは間違いありません。若い先生方が来られるのを心よりお待ちしております。是非、一緒に頑張りましょう。



和氣 良仁 川原 義成

当院で研修して良かったと思うことは多いですが、特にお伝えしたいのは次の3つです。

ひとつは他科との垣根が低いこと。初期研修医でも他科の部長クラスの先生と気軽に話すことができます。

2つ目は教育が手厚いことです。研修医に任せられる場面は多いですが、決して放任ではなく、どの指導医の先生もしっかり見ていて直すべきところは丁寧に教えてくれます。

3つ目は病院全体の雰囲気が明るいことです。職場で大切なことは、働いている人たちの表情が明るいことですね。楽しいスタッフの中で毎日充実した研修生活を送っています。

研修プログラムの特徴

1 癌治療高機能病院

癌患者さんは高齢化し、多くの合併症を持っています。当院は、リスクの高いがん患者さんに低侵襲で、安全な治療を実践しています。

(1) 健診センター・内視鏡センター、放射線治療の充実

検診から、確実に速やかな診断、内視鏡治療や放射線治療、内視鏡外科手術、外来化学療法など低侵襲かつ複合的な治療

(2) 常勤臨床心理士や緩和ケアナースの緩和ケアチーム

癌治療早期より介入し、併設の緩和ケア病棟や在宅医療で終末期ケアを行います。癌治療には生活習慣病や多くの科の知識や技術が必要です。当院では、研修医諸君を知識、技術、忍耐力、コミュニケーション能力をもった臨床医に育てます。

2 地域の基幹救急病院

救急医療は医療の原点です。すべての医師がまずプライマリーの知識と技術を持つことです。当院は救急患者さんを多く受け入れながら、当直医の負担を軽減するために、軽症患者さんの時間外受診を抑制しています。

救急体制の特徴

- (1) 放射線科医の24時間オンコール読影体制
- (2) 他科との緊密な連携で、お互いの時間外サポート
- (3) 様子観察のために1泊入院制度
- (4) 救急車 2000例/年

研修医当直時は上級医師がおり、研修医の負担が無いようにしていますが、当直ほど勉強になる機会はありません。情熱のある研修医が満足できる臨床研修病院を目指します。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年次	オリエンテーション (採血・点滴技術) 1ヵ月	将来専門としたい診療科2ヵ月		内科6ヵ月(必修) 消化器内科、血液内科、循環器内科 糖尿病・代謝内科、呼吸器内科、腎臓内科、肝臓内科		
2年次	地域医療1ヵ月	精神科1ヵ月	選択必修: 外科、小児科、麻酔科、産婦人科から科目を1ヵ月	将来専門としたい診療科を中心に9ヵ月		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科6ヵ月(必修) 消化器内科、血液内科、循環器内科 糖尿病・代謝内科、呼吸器内科、腎臓内科、肝臓内科			救急(必修) 3ヵ月 救急外来、ICU		
2年次	将来専門としたい診療科を中心に9ヵ月					

※選択必修では、本院の外科、小児科、麻酔科、産婦人科から1科目を選択し1ヵ月研修します。

※選択必修の診療科選択においては、A疾患(入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出する)及び、B疾患(外来診療又は受持ち入院患者(合併症含む)で自ら経験する事)を網羅的に経験できるように考慮して下さい。

※特にA疾患レポートを完成させるため、2年間に精神科及び外科系診療科を各1ヵ月以上は必ず選択願います。

※地域医療は地域の協力施設から選択して研修します。

※選択科においては将来専門とする診療科を中心に選択しますが、到達目標である症例経験が達成できるように他の診療科が選択できるように配慮します。

■ 研修協力病院・研修協力施設

大分大学医学部附属病院、独立行政法人国立病院機構別府医療センター、医療法人慈愛会向井病院、医療法人中庵会宇佐胃腸病院、宇佐高田医師会病院、大分県厚生連健康管理センター、介護老人保健施設シエモア鶴見、しおはま診療所、やまおか在宅クリニック

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤
- 基本給：1年次：450,000円(税込) 2年次：480,000円(税込) ※当直手当・時間外手当は、別途支給有り
- 賞与：無し
- 基本的な勤務時間：8：30～17：00
- 休暇：有給休暇 1年次10日、2年次11日
夏季・年末休暇有り、その他休暇(盆休2日)
- 宿日直：当直(夜間)必須、1年次2回/月、2年次4回/月
- 出張：必要に応じて病院負担有り
- 加入保険：公的医療保険(政府管掌保険)、公的年金保険(厚生年金)
労働者災害補償保険法の適用有り、雇用保険有り
- 医師賠償責任保険：病院において加入、個人加入は任意
- 宿舍または住居手当：職員宿舍有り、住宅手当有り
- 保育所の有無：有り



病院での研修風景

募集要項

- 募集定員：2名
- 応募資格：マッチングプログラム参加者、医師国家試験受験予定者
- 募集期間：7月初旬～7月下旬
- 必要書類：願書、履歴書 成績証明書、卒業(見込)証明書、小論文
- 選考方法：面接、小論文



リニアック



ホームケア(緩和ケア)病棟

資料請求
または
応募連絡先

〒874-8585 別府市大字鶴見 4333 番地
大分県厚生連鶴見病院 事務課 (医師臨床研修担当)

■ TEL : 0977-23-7775 ■ FAX : 0977-23-7884
■ E-Mail : office@ok-tsurumi.com
■ URL : http://www.ok-tsurumi.com



医療法人社団恵愛会 大分中村病院

所在地 大分県大分市大手町3丁目2番43号

病院長 中村 太郎



病院の概要

- 開設者：中村 太郎
- 開設年月日：昭和41年(1966年)12月10日
- 診療科目：整形外科、外科、脳神経外科、内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、形成外科、泌尿器科、リハビリテーション科、肛門科、リウマチ科、心臓血管外科、婦人科、眼科、放射線科、麻酔科

- 病床数：260床
- 医師数：常勤36名、非常勤10名
- 研修指導医数：16名
- 1日平均外来患者数：270名
- 1日平均入院患者数：240名

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ・日本整形外科学会認定医制度研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所
- ・日本形成外科学会認定医研修施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本外科学会専門医制度関連施設
- ・日本呼吸器学会専門医制度関連施設
- ・日本感染症学会専門医研修施設
- ・日本循環器学会専門医研修施設
- ・日本消化器病学会関連施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練関連施設大分大学附属病院関連施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本手外科学会基幹研修施設
- ・日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設

病院長からのメッセージ



中村 太郎

当院は、大分市の中心部に位置し、「医療による社会貢献」を理念に掲げ、急性期医療およびcommon diseaseの医療を提供している民間病院です。

二次救急病院として、救急車による搬送は年間約2000台、総合救命救急センター（ER NAKAMURA）を核に大分県民のライフラインを支えています。年間の救急患者数は延べ8000人におよびます。救急時には、各科専門医、看護師、放射線技師、検査技師などが横断的に専門の垣根を越えてベストを尽くし、医療にあたっています。

総合リハビリテーションセンターを有し、超急性期から回復期までのシームレスな医療を提供し、近郊の医療施設と連携して「地域完結型医療」を構築しています。

また本院の関連施設である「社会福祉法人太陽の家」と連携を図り、「大分国際車いすマラソン」、「パラリンピック」など障がい者スポーツに協力しています。

本院は基幹型臨床研修病院として、今年度で6期生目の初期研修医を迎えました。臨床研修病院として本院オリジナルの研修内容で取り組んでいます。ぜひ一度、見学にいらして下さい。

研修医からのメッセージ



佐藤 孝生

私が当院を初期臨床研修先として選んだ理由は、医師として少しでも自分で考えて行動できるようになりたいと思ったからです。当院は二次救急病院で夜間救急当直は研修医1人と上級医1人の2人体制であり、初期対応は研修医の仕事です。急性上気道炎や腹痛といったcommon diseaseから、AMI、SAH、腸穿孔や四肢切断といった重篤で緊急手術を要するような疾患、さらには多発外傷や来院時心肺停止(CPA)といった多科に及ぶ集中治療が必要な疾患まで、豊富な救急症例を経験することができます。

はじめはあらゆることに戸惑い無力感を痛烈に感じましたが、経験豊富な先生方の指導の下に一つずつステップアップしていくことで「重篤な患者を目の前にして自分に何ができるのか」を考えることができるようになります。

初期研修医も現在9名と多くはないため手技を

経験できる機会にも恵まれ、多くの手技を習得できるのも市中病院研修の強みです。また経験豊富な検査技師の方から詳しい腹部・心臓・頸部等のエコーを学ぶ月1のエコー実習や、グラム染色等の感染症実践塾、心電図勉強会、医局勉強会や内科カンファレンスなどが定期的であり、研修医を指導しようという雰囲気が病院全体にあります。

確かに初期研修ではある程度の厳しさや忙しさに暴露される必要があるかと思いますが、当院は忙しすぎないことも一つの魅力だと思います。待遇は良くアフターは研修医同士での勉強会をする時間の余裕もありますし、上級医にご飯に連れて行って貰えることもしばしば。研修医のメンタルが保たれているのもモチベーションのためには大切だと思います。

当院での研修の雰囲気を感じてもらう為にも是非一度気軽に見学にいらして下さい。

研修プログラムの特徴

- 1) 当院は大分保健医療圏における二次救急医療機関であり、内科系専門医、外科系専門医による密な横断的な連携のもとに、救急医療に対する総合的な研修ができる。
- 2) 当院は地域の診療所との連携を取りながら、開放病床を導入し、離島診療所・地域の中小病院、社会福祉法人太陽の家（関連施設）との連携を密にしており、地域医療、社会福祉の研修ができる。
- 3) リハビリテーション部門では、個々の患者ごとに治療計画を作成し早期離床に務めており、超急性期から回復期までのリハビリテーションの研修ができる。
- 4) 選択必修の研修科目は、臨床研修の到達目標を十分に達成するため、原則として全て履修する。
- 5) 選択研修では、自分が求める専門領域を自由に選択し、医療をより深く研修することができる。
- 6) 病院全体の職員講習会・講演会への参加、感染予防対策や安全管理等の活動を実践することにより、医療安全の基本を修得することができる。
- 7) エコー勉強会、心電図勉強会、感染症実践塾など、研修医に特化された研修に参加し、習得することができる。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション 麻酔科 ICU	救急研修（※週1日の『救急研修日』を年間通して行う）										
		内科系研修：6ヶ月間 原則として、各診療分野を、1～2ヶ月ごとにローテート 循環器 / 呼吸器 / 消化器 / 腎臓 / 糖尿病						外科系研修：5ヶ月間 1診療科以上選択ローテート 外科 / 整形外科 / 脳神経外科 / 形成外科 / 泌尿器科				
2年次	小児科	産科 婦人科	精神科	地域 医療	選択研修（8ヶ月間） 呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、 外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、麻酔科 などを自由に組み合わせて選択できる							

■ 研修協力病院・研修協力施設

大分こども病院、帆秋病院、明野中央病院、竹田医師会病院、大分大学医学部附属病院、みぞぐち産婦人科医院、岩永レディースクリニック、佐賀関病院、津久見市 保戸島診療所、介護老人保健施設健寿荘、社会福祉法人太陽の家、身体障害者療護施設ゆうわ、大分市保健所、東部保健所、南部保健所、北部保健所、西部保健所、豊肥保健所

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤
- 基本給
1年次： 500,000円/月
2年次： 550,000円/月
※上記に時間外・休日・当直手当は含まない
- 賞与：なし
- 基本的な勤務時間：8：30～17：30（※うち休憩時間1時間）
- 休暇：有給休暇 ・1年次10日（※入社半年後より） ・2年次20日
夏季休暇あり、年末年始休暇あり
- 宿日直：あり（回数：約4回/月）
- 出張：学会・研究会等への参加費用支給あり
- 加入保険：健康保険、厚生年金、厚生年金基金、雇用保険、労災保険
- 医師賠償責任保険：「病院」・「個人」ともにそれぞれ加入している
- 宿舍または住居手当：単身用・世帯用いずれもあり。病院が用意し、研修医は一定額のみを負担する。
- 保育所の有無：なし。代わりに託児料補助を行う。



形成外科研修(手術)



研修風景



エコー勉強会

募集要項

- 募集定員：5名
- 応募資格：医師臨床研修マッチングに参加し、医師国家試験合格者および合格見込みの者
- 募集期間：随時受け付けます。応相談
- 必要書類：履歴書(顔写真添付)・採用願書※当院HPからダウンロード可
- 選考方法：面接、書類審査

資料請求
または
応募連絡先

〒870-0022 大分県大分市大手町3丁目2番43号
大分中村病院 総合臨床研究センター運営室長 清家民江

■ TEL:097-536-5050(代) ■ FAX:097-537-5173(直通)
■ E-Mail: seike@nakamura-hosp.or.jp
■ URL: <http://www.nakamura-hosp.or.jp>



独立行政法人国立病院機構 大分医療センター

所在地 大分市横田2丁目11番45号

病院長 室 豊吉



病院の概要

- 開設者：独立行政法人国立病院機構
- 開設年月日：平成16年4月1日
- 診療科目：代謝・内分泌内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、呼吸器外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、婦人科、腎臓内科、膠原病内科

- 病床数：285床
- 医師数：常勤32名、非常勤2名
- 研修指導医数：14名
- 1日平均外来患者数：248.3名
- 1日平均入院患者数：340名

研修・認定施設一覧

日本内科学会 認定医制度教育関連病院
日本消化器内視鏡学会 専門医制度指導施設
日本循環器学会 専門医研修施設
日本循環器学会 不整脈研修医施設
日本心血管インターベンション学会 研修関連施設
日本外科学会 専門医制度修練施設
日本胸部外科学会 認定制度関連施設
日本消化器外科学会 認定医制度教育関連病院

日本消化器外科学会 専門医修練施設
日本乳癌学会 専門医制度関連施設
日本整形外科学会 専門医制度研修施設
日本呼吸器外科学会 専門医制度関連施設
日本呼吸器学会 専門医制度認定施設
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医関連認定施設
日本泌尿器科学会 専門医教育施設
日本透析医学会 専門医教育関連施設

日本医学放射線学会 専門医修練協力機関
日本麻酔科学会 研修施設認定病院
日本病理学会 専門医研修登録施設

病院長からのメッセージ



室 豊吉

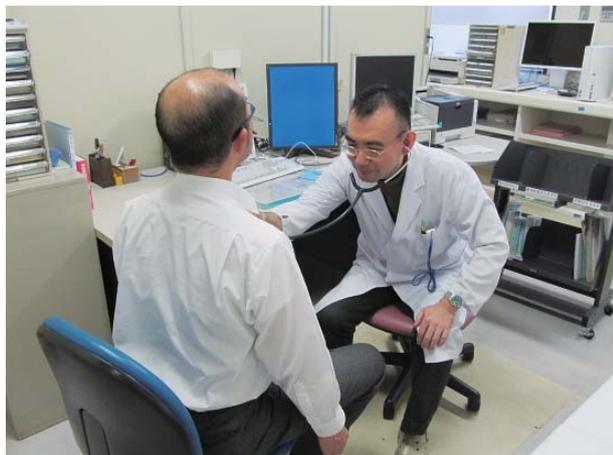
当院は、昭和54年4月に開院、国立病院としては専門医療施設に位置づけられていたため、診療各科の連携による「専門医療的」総合病院として診療の充実を図ってきました。

政策医療としてのがん、肝疾患診療を中心とした診療・臨床研究・教育研修を一層推進し、臨床研修指定病院として、毎年研修医を引き受けています。

特色として

- ① がん、悪性新生物治療の特例病床50床を有し、集学的治療を行っています。

- ② 診療部門をセンター化し、より機能的、効率的な診断、治療を行っています。
- ③ 日帰り手術（デイ・サージャリー）を各科で推進しています。
- ④ クリティカルパスを148種類有し、効率的な医療を行っています。
- ⑤ 救急医療に積極的に取り組み、平成12年4月1日より大分市二次救急医療固定輪番制（365日24時間体制）の指定を受けています。



診察風景



糖尿病教室

研修プログラムの特徴

研修医受け入れ診療科の説明及び指導体制

- ・1年目必修科目受け入れ診療科の説明及び指導体制
 - 代謝・内分泌内科:内科医として必要な診断技術と治療法を身に付ける。更に、頻度の多い代謝・内分泌疾患の診断と初期治療法の修得。
 - 呼吸器内科:呼吸器疾患に対し、適切な初期対応ができるよう、基本的診断能力を身に付ける。
 - 消化器内科:内視鏡部門、肝疾患部門、消化器病部門を中心とした疾患で病態の把握、治療手技に結びつく検査の意義と方法を知り、診断及び適切な治療方針が立てられること。基本的疾患については、検査・診断・治療を担当する。指導医の下、主治医として常時5例を受け持つ。
 - 循環器内科:疾患に応じた的確な病歴聴取。基本的診察手技の習得。循環器検査・処置の習熟。
 - 救急部門:①救急外来での研修により、気管確保、気管内挿管等の呼吸管理の方法を習得する。

②救急蘇生法の理解を深め、蘇生法の指導が出来るようにする。

③ICUの管理方法を習得する。

- ・2年目選択必修科目受け入れ診療科の説明及び指導体制
 - 外科:基本的外科処置。基本的な外科知識。手術適応の判断。
 - 麻酔科:麻酔という特殊な状況下での患者の全身管理の修得。麻酔管理をとおしての患者急変時に役立つスキルの修得。患者の痛みを和らげる方法の修得。救急蘇生法について理解を深め、蘇生法の指導ができるようにすること。
- ・2年目選択科目受け入れ診療科の説明及び指導体制
 - 代謝・内分泌内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、麻酔科は上記内容と同一。
 - 整形外科:基本的な整形外科的診察法、検査法、画像診断、治療の修得。
 - 泌尿器科:手術・腰椎麻酔を中心に、外来診察と内視鏡検査や、血液透析・腹膜透析の導入・管理、病棟での尿路管理などの修得。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	代謝内分泌内科		呼吸器内科		消化器内科		循環器内科				救急部門、麻酔科、ICU	
2年次	地域											選択必修・その他

■ 研修協力病院・研修協力施設

NHO別府医療センター、佐賀関病院、アルメイダ病院、NHO九州医療センター

研修医の処遇

- 常勤または非常勤: 2年契約による非常勤臨床研修医
- 基本給
 - 1年次: 月額323,400円
 - 2年次: 月額338,200円
 - ※上記に時間外・休日・当直手当は含まず
- 賞与: なし
- 基本的な勤務時間: 週32時間
- 休暇: 1年間に10日(6ヶ月継続勤務後)、2年目は11日
- 宿日直: 研修医当直として月に平日3回、休日1回以内
- 出張: 学会出張あり
- 加入保険: 全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、公務災害
- 医師賠償責任保険: 任意加入
- 宿舍または住居手当: 有
- 保育所の有無: 有

募集要項

- 募集定員: 2名
- 応募資格: 平成25年度医師免許取得見込みの者
- 募集期間: 平成25年4~8月(追加募集有り)
- 必要書類: ①履歴書(市販のもので可、要写真貼付)、②卒業見込証明書、③健康診断書(指定用紙)
- 選考方法: 面接



救急症例検討会



合同忘年会



腹腔鏡手術

資料請求
または
応募連絡先

〒870-0263 大分市横田2丁目11番45号
国立病院機構大分医療センター 管理課 庶務班長

■ TEL: 097-593-1111 ■ FAX: 097-593-3106
■ E-Mail: 8111sy01@hospo.go.jp
■ URL: <http://nho-oita.jp/>



大分赤十字病院

所在地 大分市千代町3丁目2番37号

病院長 若杉 健三



病院の概要

■ 開設者：日本赤十字社大分県支部 支部長 廣瀬 勝貞

■ 開設年月日：昭和27年4月1日

■ 診療科目：内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓・胆のう・膵臓内科、循環器内科、リウマチ科、腎臓内科、小児科、外科、消化器外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、神経内科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

■ 病床数：340床（一般）

■ 医師数：常勤82名、非常勤21名

■ 研修指導医数：51名

■ 1日平均外来患者数：533名（平成23年度）

■ 1日平均入院患者数：311名（平成23年度）

研修・認定施設一覧

日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本糖尿病学会認定教育施設、日本感染症学会認定研修施設、日本呼吸器学会認定臨床研修施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本肝臓病学会認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本腎臓学会認定研修施設、日本リウマ

チ学会認定教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設、日本呼吸器外科学会専門医関連施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本肝胆膵外科学会高度技能医制度修練施設A、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本透析医学会専門医認定施設、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設、日本泌尿器内視鏡学会泌尿器科腹腔鏡技術認定研修

施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本病医学会登録施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本口腔外科学会認定医制度専門医・指導医研修施設、日本口腔外科学会関連研修施設、日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設

病院長からのメッセージ



若杉 健三

奥が深く魅力あふれる臨床の世界

皆さんが職業として医師を選び、今、研修のスタート台に立つことを心から祝福します。

踏みこもうとする医学・医療の世界は奥が深く、一生を託して余りある魅力溢れる世界だからです。医療は医学の実践の場であり、不特定多数の患者さんを対象としますので、医師は専門領域の科学的知識をフルに実践できる技術を修得、向上せしめる事に加え、

「人間学、とも言うべきコミュニケーション能力をみがくことが求められます。幸い当院は急性期を中心に豊富な症例があり、指導力があり仕事には厳しいが暖かいハートを持つ専門家が揃っていますし、チーム医療を進める上で信頼できる多くのメディカルスタッフに恵まれています。「謙虚な姿勢と向上心」さえあれば医師としてのスタートを切るには最適な環境であると自負しています。

研修医からのメッセージ



中園 裕一

初めまして、大分赤十字病院研修医1年目の中園裕一と申します。本病院の魅力ですが、まず研修医が経験できる手技の豊富さを挙げます。内科系では心カテ時のAライン挿入・CV・トロッカー挿入・BF・GF等々、ほぼ毎日何かしらの手技を研修医にさせてもらえるので、それぞれの科の魅力がダイレクトに伝わってきますし、自信と度胸もつきました。先生方も壁のない気さくな方ばかりで、科を移っても分からないことがあればいつでも聞きに行ける環境がとても有難いです。外科系は虫垂切除・ストリッピングから膵頭十二指

腸切除・食道切除など幅広い水準の手術が毎日目白押しで、僕は2ヶ月間で胆嚢摘出を4回も経験させてもらえました。他の科に移った今でも、自信を無くしそうな時は「胆嚢取ったんやから大丈夫」と自分に言い聞かせています(笑)。そして、何と言っても大分日赤一番の魅力は人間関係のストレスの無さだと思います。病院のスタッフの方々は本当に皆優しく、これ程精神的なストレスを抱えることなく働ける職場は中々見当たらないでしょう。どうですか皆さん、本病院で素敵な研修医生活を始めてみませんか？

研修プログラムの特徴

指導医が「臨床に対する熱い思い」をマンツーマン方式で伝えられるようにカリキュラムの充実を図り、「当院で研修を受けたい、当院で働きたい」という病院本来の目標に沿うようにハード・ソフト両面からの体制づくりを進めている。医師としてのプロフェッショナルリティを養い、通常遭遇する疾患群に的確に対応できる医療能力を身につくことができます。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年次	内科					
2年次	地域医療	将来専門とする診療科を中心に関連の専門科での研修				

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	救急		選択必修			
2年次	将来専門とする診療科を中心に関連の専門科での研修					

※プログラムは変更の可能性あり
 ※科目の順番は希望により変更可
 ※選択必修は、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科から2科目以上を選択

■ 研修協力病院・研修協力施設

国立病院機構別府医療センター、大分県立病院、臼杵市医師会立コスモス病院、津久見市医師会立津久見中央病院、お元気でクリニックこれいし、今津赤十字病院、唐津赤十字病院、小清水赤十字病院、大分県赤十字血液センター

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤嘱託職員
- 基本給
 1年次：月額300,000円（交通費別途支給） 2年次：月額320,000円（交通費別途支給）
 ※上記に時間外・休日・当直手当は含まれない
- 賞与：無し
- 基本的な勤務時間：8：30～17：10（1週間の勤務時間38時間45分）
- 休暇：土・日・国民の祝日、夏季休暇（3日）、年末年始休暇（6日）、日赤創立記念日（5月1日）
- 宿日直：2～3回/月
- 出張：学会、研究会等への参加可（旅費支給など）
- 加入保険：健康保険、厚生年金、日赤厚生年金基金、雇用保険加入
- 医師賠償責任保険：病院加入
- 宿舍または住居手当：宿舍無し。住宅手当支給有
- 保育所の有無：無し



手術風景



忘年会の風景

募集要項

- 募集定員：6名（予定）
- 応募資格：医師国家試験合格予定者、マッチングプログラム参加者
- 募集期間：7月～9月予定（決定次第、当院ホームページなどに掲載）
- 必要書類：履歴書、成績証明書、卒業見込証明書、健康診断書
- 選考方法：書類審査・面接

〒870-0033 大分市千代町3丁目2番37号
 大分赤十字病院 総務課 森山 達夫

資料請求
 または
 応募連絡先

■ TEL：097-532-6181 ■ FAX：097-533-1207
 ■ E-Mail：soulmukikaku@oita-rc-hp.jp
 ■ URL：http://www.oitasekijyuji.jp/



東日本大震災 救護班

大分県済生会 日田病院

所在地 日田市大字三和 643 番地の 7

病院長 西田 敬



病院の概要

■ 開設者：社会福祉法人 済生会支部大分県済生会

■ 開設年月日：平成 2 年 10 月 1 日

■ 診療科目：内科、心臓血管内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科（人工透析）、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、頸部外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科

■ 病床数：204床（一般200床、感染症4床）

■ 医師数：常勤31名、非常勤35名

■ 研修指導医数：16名

■ 1日平均外来患者数：314名

■ 1日平均入院患者数：180名

研修・認定施設一覧

日本内科学会認定教育関連病院、日本呼吸器学会関連施設、日本脳卒中学会認定研修教育施設、日本外科学会認定医制度修練施設、日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所、日本整形外科

学会認定医制度研修施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本血液学会認定医研修施設、日本感染症学会専門医研修施設、日本医学放射線学会放射

線科専門医修練協力機関、日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設、日本乳癌学会認定医・専門医研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設 他

病院長からのメッセージ



西田 敬

当院は平成 18 年 9 月に大分県西部圏域における唯一の基幹型臨床研修病院として指定を受けました。現在、研修医の定員は 2 名で、1 名が研修中です。

当院は日田市、玖珠郡をおもな診療圏とし、対象人口は約 10 万人、高齢化率は 29% です。ベッド数は 204 床（一般 200 床、感染症 4 床）であり、共同利用型病院、へき地医療拠点病院、開放型病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、大分県西部圏域の基幹病院としての役割を果たしてきました。

平成 23 年度年間 3,274 人の入院患者を扱

っており、悪性腫瘍患者は、591 人（18%）でした。二次救急病院として救急車を年間 1500 件余受入れており、緊急検査、緊急手術にも積極的に対応しています。

研修医受入れに向けて、研修体制の整備を毎年進め、各診療科の指導医も合わせると 16 人となっています。一方では、医学生を対象とした奨学金貸与制度も創設しており、当院で安心して研修を受けることが可能となっています。今後も研修医にとって魅力的な研修病院として邁進してまいります。

研修医からのメッセージ



川口 勝輝

当院は大分県西部県境に位置しており、福岡県、大分県双方の幅広い地域医療圏から患者さんが集まります。そのため、経験できる症例数は豊富で、臨床実績十分の指導医の下、初期対応から回復期に至るまで考えながら学ぶ研修を実践できます。また、当院は市中病院で大規模とは言えませんが、それゆえに診療科を超えた医師の連携と対応の早さという利点生まれ、患者さんにとって大いにプラスとなっていることを日々の研修で実感しています。市中病院での指導体制に不安を感じる方も多いと思いますが、当院は研修医の数

が少なく、経験豊富な上級医から直接指導してもらえます。輸液、処方薬の選択や緊急時の指示など、より多くの事態を想定した実践的な対応法を学ぶ上で、これも大きなメリットになると考えます。加えて、大学病院から応援で常勤に入ってくる先生は 4～5 年目の方も多く、地域医療研修として関連病院からの初期研修医のローテーションがあるので、若手医師同士の交流もあり、とてもバランスの取れた研修環境であると思います。地域医療に興味のある方は、気軽に見学に来てくださるとうれしいです。お待ちしております。

研修プログラムの特徴

1年次研修では、基本研修として、内科、救急、選択必修（外科・麻酔・小児科・産婦人科・精神科から2科目選択）の研修を行います。

引き続き行う2年次研修では、地域医療と自由選択科目のローテイト研修を行います。

将来いずれの分野をめざしたとしても、必ず必要となるプライマリケアから救急医療までの基本的な診療を学ぶ研修体制作りを行っています。

また、大学の教育関連施設として教育・研修に特に力を注ぎ、医師としての人格を涵養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、基本的な診療能力をしっかりと修得できる研修の場を提供します。選択については研修医定数が少ないため、極めて柔軟に対応可能です。指導については、指導医がマンツーマンにて行う場合がほとんどです。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			※選択必修（2科目）		
2年次	地域医療	自由選択										

※選択必修は外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、地域保健から2科目を選択する。

■ 研修協力病院・研修協力施設

久留米大学病院・岩手県済生会岩泉病院、奥村日田病院、宮原レディースクリニック、みよしくりニック、おだクリニック、日田市立上津江診療所、日田市立東溪診療所、大分県西部保健所

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤
- 基本給
1年次：280,000円 2年次：300,000円
※上記に時間外・休日・当直手当は含まない
- 賞与：有り
1年次：75万円
2年次：121万円
- 基本的な勤務時間：8：30～17：24（うち昼休み1時間）
- 休暇：有給休暇 1年次15日、2年次20日
夏季、年末年始休暇
- 宿日直：約3回/月
- 出張：原則病院が全額負担している
- 加入保険：公的医療保険（協会けんぽ）、公的年金保険（厚生年金）・労働者災害補償保険法の適用有、雇用保険有
- 医師賠償責任保険：病院において加入する（個人加入任意）
- 宿舍または住居手当：住宅手当 上限40,000円
- 保育所の有無：今後設置予定



研修風景



指導医による心臓カテーテル施行指導

募集要項

- 募集定員：2名
- 応募資格：今年度国家試験受験者
- 募集期間：8月末日まで
- 必要書類：履歴書、卒業（見込み）証明書、成績証明書
- 選考方法：面接

資料請求
または
応募連絡先

〒877-1292 日田市大字三和 643 番地の7
大分県済生会日田病院 総務課 山口 暢登

■ TEL：0973-24-1100 ■ FAX：0973-22-1269
■ E-Mail：jinji@saiseikai.hita.oita.jp
■ URL：http://saiseikai.hita.oita.jp



和やかな病院忘年会

国家公務員共済組合連合会 新別府病院

所在地 大分県別府市大字鶴見 3898 番地

病院長 中村 夏樹



病院の概要

- 開設者：理事長 尾原 榮夫
- 開設年月日：昭和30年12月3日
- 診療科目：21科目

- 病床数：269床
- 医師数：常勤43名、非常勤2名
- 研修指導医数：15名
- 1日平均外来患者数：216.4名
- 1日平均入院患者数：238.6名

研修・認定施設一覧

- ・救命救急センター
- ・地域医療支援病院
- ・災害拠点病院
- ・日本医療機能評価認定施設
- ・へき地医療拠点病院
- ・DPC対象病院
- ・DMAT対象病院
- ・救急科専門医指定施設

病院長からのメッセージ



中村 夏樹

皆さんは医学部を卒業して国家試験に合格したら2年間の臨床研修期間を過ごすこととなります。

まず「医師」とはどんな職業なのか、どんな使命感を負った職業であるのかをもう一度考えてください。そうすれば自ずと研修への取り組みが解ると思います。大事なことは乏しい知識で構いません、患者さんとよく話をすることです。

臨床研修医制度のコンセプトは「日常遭遇する疾患に対するプライマリーケアができること」であり、これは幅広い知識と技術を習得するということです。

一方、医者としての使命の一つは重症患者さんを助ける（救命する）ことです。MOF,sepsis,DIC

などの病態を持った患者さんを“どう診る”かを若いうち（卒後5年間）学んでください。

新別府病院は基幹型研修病院ですが、大分大学、熊本大学の協力病院でもあります。若いエネルギーな先生方が来てくれると病院も活気づき嬉しいです。

皆さん！「3つの—sion」を持って下さい。

医療者としてのMission、Visionそして何より大事なPassionです。

極端に言えばどこで研修しても同じです。

皆さんが「医療人としてのMissionに燃え、Passionを持って、将来に自らのVisionを描ける研修」を期待します。

研修医からのメッセージ



山田 怜奈

初期研修2年時に研修
金沢医科大学卒
現在、関東の病院で勤務

研修できてよかったと感じる点は「人の温かさ」と「打てば響く研修環境」

研修医2年時に研修をした山田怜奈です。東日本大震災の影響で東北から九州・大分へとやってきました。まったく新しい土地での生活ということで当初は不安や緊張もありましたが、新別府病院の先生方や職員の皆さんに大変温かく迎えて頂き、やる気溢れる元気な研修医仲間と共に充実した研修生活を送りました。

私が新別府病院で研修できて本当に良かったと感じることは「人の温かさ」と「打てば

響く研修環境」があることです。

三次救急を行う地域の中核病院でありながら、アットホームな雰囲気があり、自分の希望や努力次第では診療科の垣根を越えていくだけでも「学ぶ」ことができます。

基本的に、何かを学びたい、経験したいという気持ちに「No」と言われることはありません。自ら能動的に求めていく姿勢は必要ですが、それを見守り、受けとめ、想像以上の「響き」で返して下さる先生方やスタッフの方が沢山いらっしゃいます。

自分色の研修に興味がある方は是非新別府病院での研修をお勧めいたします！

研修プログラムの特徴

- ① 研修医の自主性を尊重、初期臨床研修の到達目標を達成した後は、2年目には最大11カ月間の研修科を自由に選択できます。各診療科の基礎を修得し、将来の専門医取得に向けたワンストップとすることができます。
- ② 病院職員全体で研修医を見守り、育てる姿勢を大切にしています。平成23年度からは、メンター制度を取り入れました。レジデントクラスの医師が個々の研修医の相談役として面会・メール等を介してきめ細かく思いや考えを聞き適切なアドバイス等を通して研修医と一緒に問題解決にあたります。
- ③ 大分県の救命救急センターの一つであり、一次救急から最重症の3次救命医療まで幅広く学べます。ICUとHCU各8床でハイレベル（集中治療専門医研修施設）な集中治療に参加してもらえます。
- ④ CPCに力を入れています。各研修医1名に必ず1解剖症例の臨床報告（CPC）の開催を確保してきました。これは2年次の研修医にも適用されこれまでに当院の臨床研修を受けた研修医は全員CPCレポートを終えました。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年次	内 科					
2年次	※	※	※	※	選択的	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内 科	外 科		救急分野		
2年次	選 択 的					

- ※ 1年目：救急分野は麻酔科を含む
 ※ 2年目：
 4月～8月 小児科（1ヶ月）
 産婦人科（2ヶ月）精神科（1ヶ月）
 地域保健医療（1ヶ月）

■ 研修協力病院・研修協力施設

西別府病院、豊後大野市民病院、大分こども病院、別府医療センター、鶴見台病院

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：非常勤
- 基本給 1年次：400,000円 2年次：450,000円
 ※上記に時間外・休日・当直手当は含まない（時間外での勤務はありません）
 （当直は月4回位）
- 賞与：なし
- 基本的な勤務時間：8:30～17:15
- 休暇：年末年始（12/29～1/3）、開院記念日12/3 他
- 宿日直：月4回
- 出張：あり
- 加入保険：政府管掌健康保険、公的年金保険、厚生年金保険
- 医師賠償責任保険：病院において加入する個人加入 任意
- 宿舍または住居手当：住宅手当25,000円
- 保育所の有無：無

募集要項

- 募集定員：2名
- 応募資格：平成25年度医師国家試験受験予定者
- 募集期間：随時
- 必要書類：履歴書、卒業（見込み）証明書、成績証明書
- 選考方法：面接

資料請求
または
応募連絡先

〒874-0839 大分県別府市大字鶴見 3898 番地
 国家公務員共済組合連合会新別府病院 総務課長 古川

■ TEL：0977-22-0391 ■ FAX：0977-26-4170
 ■ E-Mail：soumu@shinbeppu-hosp.jp
 ■ URL：http://www.shinbeppu-hosp.jp



研修風景



研修風景



診療風景、設備（救命センター）

大分市医師会立 アルメイダ病院

所在地 大分市大字宮崎 1509-2

病院長 杉村 忠彦



病院の概要

- 開設者：一般社団法人 大分市医師会
- 開設年月日：昭和44年4月1日
- 診療科目：内科、内分泌内科、血液内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、放射線科、外科、血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、小児科、新生児内科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、精神科、眼科、耳鼻いんこう科

- 病床数：406床
- 医師数：常勤54名、非常勤14名
- 研修指導医数：11名
- 1日平均外来患者数：153名
- 1日平均入院患者数：347名

研修・認定施設一覧

- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本消化器病学会関連施設
- ・日本内科学会教育関連病院
- ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・日本脳神経外科学会専門医訓練施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本小児科学会専門医研修施設
- ・日本血液学会研修施設
- ・日本皮膚科学会専門医研修施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本循環器学会研修関連施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医関連教育施設
- ・日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院

病院長からのメッセージ



杉村 忠彦

新医師臨床研修制度に先立って行われた日本医師会が提唱する卒後臨床研修「地域施設群研修方式」モデル事業に参加し、その検証結果と7年にわたる協力型臨床研修病院としての経験に基づいて研修プログラムを作成しました。若い医師に入っていただくことはそれだけで病院が活性化し、教えることにより指

導医自身も学べる医師臨床研修に大いに期待を寄せています。医師会立病院の特色を生かしながら、ご参加いただいた病院群の皆様と一緒に効果的かつ魅力的な研修により「次世代を担う医師」を育てて参りたいと思います。医学生諸氏のご応募をお待ちしております。

研修医からのメッセージ



研修の特徴としては、次の点が挙げられると思います。

(1) 研修内容の充実

研修医一人あたりの症例数が充実しており、手技や病態の理解といった経験という面だけでなく基幹型臨床研修病院としての教育体制もしっかりしており、随所における診療面でのフォローなど勉強になることが多々ありました。

(2) 働きやすい環境

医師と医師だけでなく、医師とコメディ

カルの間の垣根が低く、綿密な医療を実践できることは数ある魅力のうちの一つです。

(3) 救命救急センターを有する災害拠点病院

感冒や打撲といった軽症から敗血症や多発外傷といった重症まで、ER型の救急医療を実践できるだけでなく、入院から退院までの集中ケアも実践できることは醍醐味の一つです。また、今後は緩和ケア病棟の建設にともない、急性期だけでなくホスピスなどの慢性期治療に関しても充実した研修が行えるようになると思います。

研修プログラムの特徴

紹介型の医師会立病院としての症例の多様性、Aランクの救命救急センターを併設し、1次救急から3次救急までを担う救急医療対応、新生児集中治療室を備える地域周産期母子医療センター、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、県内有数の症例数を誇る内視鏡センターなど年間の外来55,000人、入院7,000人、救急搬送2,500件に及ぶ豊富な症例を短期間に経験することができます。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年次	消化器内科		内分泌内科	腎臓内科	循環器内科	
2年次	選択科目					

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	救急科			選択必修		
2年次	地域医療	精神科	選択科目			

※1年次選択必修科目受入れ診療科
外科、呼吸器外科・血管外科、小児科、産科・婦人科

※2年次選択科目受入れ診療科
消化器内科、内分泌内科、循環器内科、整形外科、形成外科、救急科（希望によりアルメイダ病院の全診療科から選択することも可能）

■ 研修協力病院・研修協力施設

医療法人社団親和会 衛藤病院、大分県医療生活協同組合 竹田診療所

研修医の処遇

- 常勤または非常勤：常勤
- 基本給
1年次：433,000円 2年次：439,000円
※上記に時間外・休日・当直手当は含まない
- 賞与：無し
- 基本的な勤務時間：8：30～17：15（休憩12：00～13：00）
- 休暇：有給休暇 1年次10日、2年次11日
夏季休暇 3日（7月15日～9月30日の間）
年末年始 5日（12月30日～1月3日）
その他 週休2日、開院記念日（4月1日）、盆休（8月14日）
- 宿日直：1・2年次は希望により0～5回/月
- 出張：学会、研究会等への参加可（参加費用10万円/年まで支給有り）
- 加入保険：社会保険、厚生年金、労働保険、雇用保険有り
- 医師賠償責任保険：病院において加入（個人加入は任意）
- 宿舍または住居手当：単身用3戸（自己負担30,000円、水道・光熱費等別）
- 保育所の有無：有り

募集要項

- 募集定員：2名
- 応募資格：医師国家試験合格予定者、マッチングプログラム参加者
- 募集期間：5月1日～随時受付
- 必要書類：履歴書、卒業（見込み）証明書、成績証明書、健康診断書
- 選考方法：面接、小論文（事前提出）

〒870-1195 大分市大字宮崎 1509-2
大分市医師会立アルメイダ病院 総務課 安東 雅由

資料請求
または
応募連絡先

■ TEL：097-569-3121 ■ FAX：097-568-0743
■ E-Mail：ma_andou@almeida.oita.med.or.jp
■ URL：http://www.almeida-hospital.com/



ホスピタルギャラリー



救命救急センター



冬季職員旅行

女医さん集まれ！大分県は貴女たちを待っています！

今回、多くの医学生や研修医の方が集まる場において女子医師支援のことを語る機会を与えられました。

私たちが福岡で学生時代を送った頃は「女子学生亡国論」なるものが唱えられ、学内でも女子更衣室やトイレに苦労した思い出があります。あれから半世紀近くなり、女性医師の占める割合は約15%になり、医師不足の折から「子育て支援」「勤務環境の整備」などが叫ばれてきました。大分県でも女性医師にアンケートを取り、何が困っているかを調査し、手短なところから大分大学における女子学生・研修医を対象とした研修会を開催し、先輩医師の体験に基づいたアドバイスを発表してもらいました。研修会後の大学食堂での懇親会と共に好評でした。今年4月からは時代の流れに乗って「男女共同参画委員会」と名称を新たに大分大学女性研究者サポート室と協力し、また大

分県の行政とも連携をとりながら、より良い女性医師の働く環境づくりを目指しています。大分の官公立の病院はもちろん、民間の病院も女性医師の働く環境に柔軟な対応を示してくれています。同時に保育環境も徐々に整備されています。

女子学生・研修医のあなた方が、自分の目指す方向に向かってがんばれるよう、研修病院はもちろんのこと、大学や行政そして医師会（男女共同参画委員会）も協力します。アンケートによれば、73%の女性医師が「医師になってよかった」と感じています。あなたがその1人になれるよう、「初めの1歩」として、慎重にそして前向きに研修病院の選択をしてください。

大分県医師会男女共同参画委員会会長
谷口 邦子

①大分県の取組

短時間正規雇用支援事業

県では、仕事と子育ての両立、過重労働の改善等、勤務医のワーク・ライフ・バランスに配慮した多様な勤務体制の構築をめざして、短時間正規雇用制度を導入する医療機関への支援を行っています。

【事業の概要】

医療機関に対し、女性医師等の短時間勤務や宿日直免除等の利用に伴う、代替医師の雇用経費を助成する。



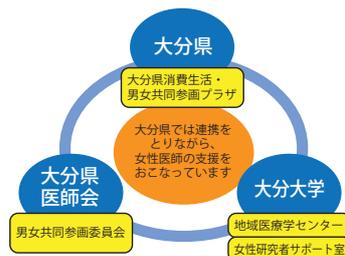
②大分県立病院の取組

非常勤医師の育児休業制度

大分県立病院では、非常勤医師でも常勤医師と同じように育児休業をとれる制度があります。また病児保育施設もあります。

③大分大学の取り組み

平成18年に医学部附属病院に「なかよし保育園」が開設され、多くの医師・看護師・職員が安心してお子さまを預けられるようになってきました。また、平成19年より、育児中の医師・看護師のために、勤務時間が短くても仕事を続けられる「短短制度」が整備されています。平成22年には地域医療学



センターが設立され、大分県の地域医療に貢献する医師の育成がはじまりました。また、同じ年に「女性研究者サポート室（FAB）」が設立され、女性研究者（女性教員）のキャリアや研究に関する支援だけでなく、女性医師・看護師が出産・育児・介護などと仕事を両立することを応援するしくみづくりをしています。

女性研究者サポート室長 松浦恵子

● 女性研究者サポート室はこんなことをしています！

- ① 病児保育室の開室準備
(平成25年春に医学部敷地内に開室予定です。)

*病児保育とは…

お子さまが発熱したり、急に病気になったとき、いつも通っている保育園や小学校に登園・登校することができなくなったり、途中で迎えに行かなくてはならなくなり、仕事を休んだり中断する必要が生じます。こんなとき、看護師・保育士がお子さまの保育や看護をすることが「病児保育」です。

- ② 休憩室の設置
勤務中の体調不良時や搾乳等で利用できます
- ③ ホームページや広報誌の発行
出産・育児に係る勤務時間・休日・休暇等の情報を発信中です
- ④ 交流会の実施
仕事と家庭の両立に関して、意見交換できる場を設けています
- ⑤ 講演会・セミナー・男女共同参画教育の実施
両立の理解や協力を得るための意識改革をおこなっています
- ⑥ 研究サポーター事業：研究補助員の雇用
実験補助・文献調査およびデータ解析等を行う研究補助員の雇用を支援しています。

皆様へのメッセージ

大分県では、県、医師会、大学が連携しながら、女性医師がライフイベント（出産・育児など）のために仕事をやめないで続けていける支援を行なっています。活躍している先輩の声を聞いたり、具体的な支援の内容を紹介するイベントも開催しています。県をあげてひとりでも多くの女性医師が働ける環境づくりをめざしています。これは、男性医師をはじめ、すべての医療従事者にとって働きやすい環境をつくること、そして大分県の医療を支えることにつながります。



FAB子ちゃん

大分大学女性研究者サポート室
オリジナルキャラクター

Spa 温泉

海地獄

全国の温泉を知り尽くす温泉の達人たちがこの世とは思えないほど幻想的で美しいと絶賛する別府温泉。

美肌を実感する温泉浴

長湯温泉



山頭火が「あかつきの湯が、私一人をあたためてくれる」と歌を詠んだ長湯温泉。

由布院温泉

ゆったりとした稜線が美しい由布岳の絶景を望む露天風呂。

竹瓦温泉



日本一のおんせん県 **おおいた**。味力も満載。

麦焼酎



全国でも有名な大分の麦焼酎。新鮮な食材にとても合う。

佐伯寿司



鮮度抜群のネタが一年中味わえる。地物の旨さと職人技が光る「世界一の寿司」。

関あじ・関さば

身がしまり、弾力のある歯ごたえがたまらない。さばを刺身で食べられるのも大分の自慢。



ふぐ



豊後牛

大分県を代表する一級品、豊後牛。赤身に霜降りがほどよく調和し、やわらかくてとろけるような味わい。



産地ならではの鮮度と極味



とり天

鶏肉消費量No.1の大分県が代表する大分のソウルフード。子供から大人までみんな大好き！

食

Food



育てます!
あたたか〜い
心の医師



大分県地域医療支援センター
大分大学医学部附属地域医療学センター

大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地
TEL : 097-586-6306
E-mail : chi-ryou@oita-u.ac.jp
HP : <http://oitachiiki.med.oita-u.ac.jp>